

第4次
富士宮市地球温暖化対策実行計画
(事務事業編)

平成28年度結果報告書

平成30年3月

富士宮市 環境企画課 環境エネルギー室

1. 計画の概要

(1) 計画期間

実行計画の期間：平成28年度～平成32年度

本計画の期間は、平成28年度から平成32年度までの5年間とします。

第2次富士宮市環境基本計画との整合を図るため、環境基本計画の中間年度の平成32年度を終了年度とします。

本計画の策定に当たっては、基準年度を平成26年度として削減目標等を定めます。なお、社会情勢の変化、法改正等により、必要に応じ見直しを行います。

(2) 温室効果ガス排出削減目標

削減目標：平成32年度までに平成26年度比で9%削減する

分野別排出量の削減目標を、次のとおり設定します。 (単位：t-CO₂)

排出起源		基準年度実績 (平成26年度)	平成32年度目標	
電気の使用		16,218	電力使用量の削減及び新エネルギー等の導入により、温室効果ガス排出量を基準年度比で約6%削減します。	15,244
燃料の使用	都市ガス	2,941	燃料使用量の削減及び新エネルギー等の導入により、温室効果ガス排出量を基準年度比で約3%削減します。	2,842
	LPガス			
	A重油			
	灯油			
	ガソリン・軽油 (公用車燃料除く)	422	公用車使用による燃料(ガソリン及び軽油)使用量の削減により、二酸化炭素排出量を基準年度比で約6%削減します。	397
公用車燃料				
プラスチックごみの燃焼		9,357	プラスチックごみの焼却量の削減により、二酸化炭素排出量を基準年度比で約18%削減します。	7,672
その他 ・自動車(エアコン、走行) ・下水、し尿の処理		1,973	可能な限り削減に努めますが、数値目標は定めません。	1,973

(3) 計画の対象物質

本計画では、温対法第2条第3項が対象としている下記の7種類の温室効果ガスを対象とします。

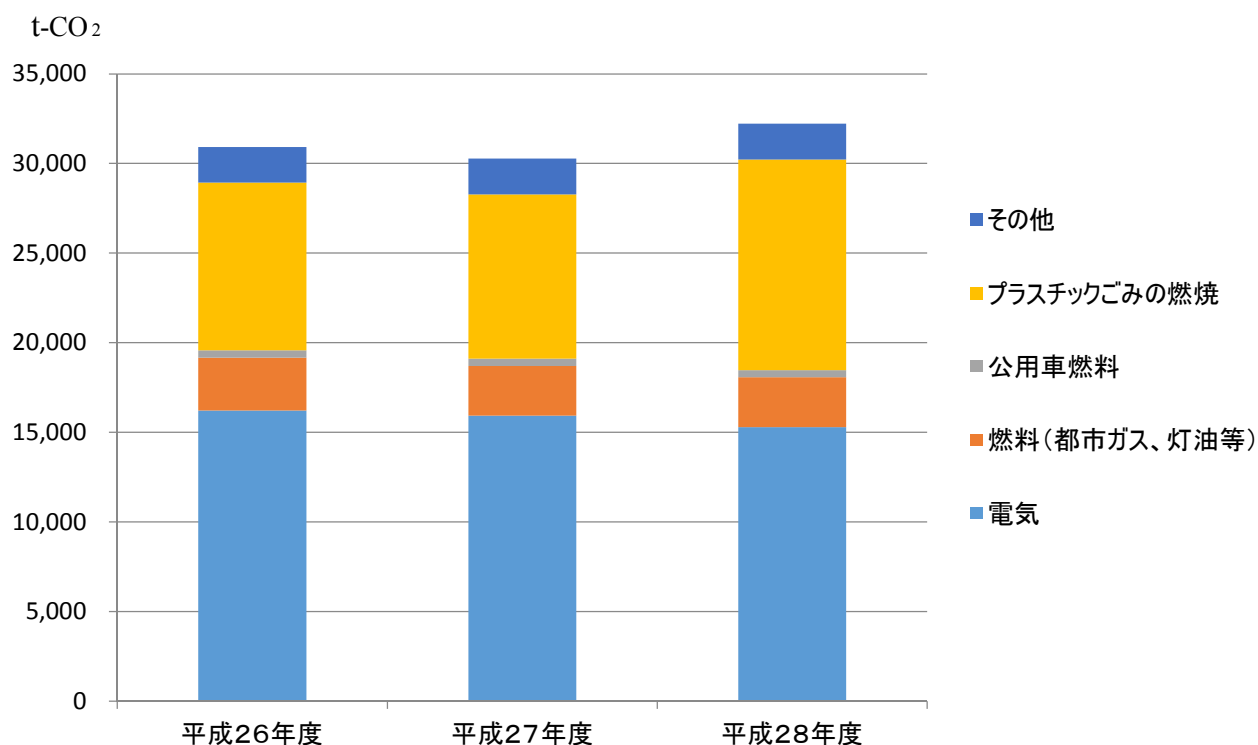
名称	概要	地球温暖化係数 (温室効果)
二酸化炭素(CO ₂)	主に石油や石炭などの化石燃料の燃焼により排出されます。エネルギー消費を伴う日々の生活と密接に関係しています。	二酸化炭素の係数(温室効果)を1とする。
メタン(CH ₄)	水田や家畜の腸内、廃棄物最終処分場における有機物の嫌気性発酵等において発生します。	25
一酸化二窒素(N ₂ O)	化石燃料や一般廃棄物の燃焼、農用地の土壌や家畜排泄物等から発生します。	298
ハイドロフルオロカーボン(HFCs)	冷凍機器、空調機器の冷媒や断熱材等の発泡剤等に使用します。オゾン層を破壊しませんが、強い温室効果があります。	12~14,800 【1,430 (HFC-134a)】
パーフルオロカーボン(PFCs)	主に半導体の製造工程等において使用されます。強い温室効果があります。	—
六ふっ化硫黄(SF ₆)	主に電気絶縁ガスや半導体製造工程等において使用されます。強い温室効果があります。	—
三ふっ化窒素(NF ₃)	半導体製造でのドライエッチングやこれらの製造装置のクリーニングに使用。	—

2. 温室効果ガス排出状況

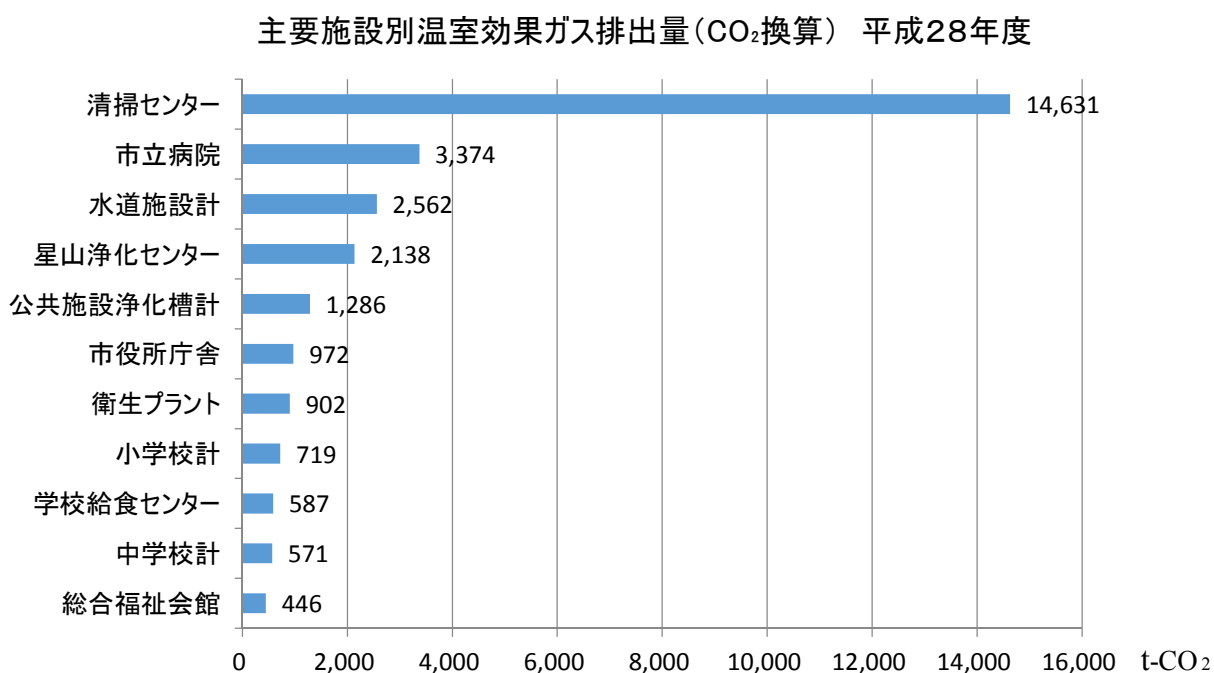
(1) 温室効果ガス排出量とその推移

(単位：t-CO₂)

排出起源		年度	平成 26 年度 (基準年度)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度 増加率 (基準年度比)
電気の使用			16,218	15,935	15,292	-5.7%
燃料の 使用	都市ガス		2,941	2,772	2,792	-5.1%
	LP ガス					
	A 重油					
	灯油					
	ガソリン・軽油 (公用車燃料除く)					
公用車燃料			422	416	396	-6.3%
プラスチックごみの燃焼			9,357	9,149	11,752	25.6%
その他 ・自動車(エアコン) ・下水、し尿の処理			1,973	1,998	1,983	0.5%
計			30,910	30,270	32,214	4.2%



(2) 施設別の温室効果ガス排出量



(3) 種類別の温室効果ガス排出量

(単位：t-CO₂)

温室効果ガスの種類	平成 26 年度 (基準年度)	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 28 年度 増加率 (基準年度比)
二酸化炭素	28,881	28,216	30,160	4.4%
メタン	1,465	1,475	1,470	0.4%
一酸化二窒素	561	575	581	3.6%
ハイドロフルオロカーボン類	4	3	3	-15.3%
パーフルオロカーボン類	—	—	—	
六ふっ化硫黄	—	—	—	
三ふっ化窒素	—	—	—	
計	30,910	30,270	32,214	4.2%

3. 平成28年度取組結果

(1) 省エネ設備の導入

施設名称	導入設備
本庁舎	LED 照明（4階）
市立病院	小型貫流ボイラー更新
星山浄化センター	LED 照明（誘導灯）
衛生プラント	LED 照明（誘導灯、非常灯、受入室）
北山会館	LED 照明（誘導灯）
富士山環境交流プラザ	LED 照明（展示室、事務室）
長生園	空調機更新（応接室、浴室、寮母室）
中央図書館	空調機更新（書庫）
富丘小学校	LED 照明（教室）

(2) 太陽光発電システムの導入（余剰売電及び自家消費）

施設名称	設置容量	売電状況
学校給食センター	20kW	余剰売電

(3) 公用車導入の状況

ハイブリッド車	3台
電気自動車	1台